第 16 号 (2022年度)
(令和 4年5月～5年4月)

エコアクション２１

環境経営レポート

TOTAL METAL WORK YAMASHITA
since 1960

先進技術と熟練の職人が受け継いできた確かな技術の
融合が生み出すオンリーワンのものづくり。

2023年7月13日作成

株式会社ヤマシタ
YAMASHITA

Ⅰ．環境経営方針

＜環境経営理念＞

全世界では益々深刻化する地球温暖化への対応が求められており、二酸化炭素の排出や資源の有効利用は人類共通の重要課題であると考えています。株式会社ヤマシタは環境経営目標を構築し、社員が一丸となって環境保全に取組みます。

金属加工品の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、社員が自主的・積極的に、環境経営目標の取組みを進めてまいります。

＜環境保全への行動方針＞

1．環境経営目標を定め、社員全員が環境負荷の削減に取組みます。

① 電力及びガソリン・軽油等の消費削減に努め、二酸化炭素排出量を削減します。

② 紙類、金属端材、廃プラ、木くず等の廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進します。

③ 節水活動により水使用量の削減に努めます。

④ 化学物質(PRTR法対象物質)の使用量の削減に努めます。

⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努めます。

⑥ ステンレスの素材を活かして、環境に配慮した製品開発を行います。

⑦ 工場周辺の清掃活動に努め、地域住民と協調を図ります。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2．環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3．環境経営方針を社員全員に徹底し、環境に対する意識を高め、環境改善を継続的に取組みます。

2022年 5月 1日
株式会社　ヤマシタ
代表取締役　福山 邦夫

Ⅱ 事 業 の 概 要

1. 事業所名および代表者
株式会社　ヤマシタ
代表取締役　福山　雅典

2. 所在地

本社・本社工場	富山県富山市上八日町22番地の1
新湊工場	富山県射水市新堀21番地の3
新湊北工場	富山県射水市新堀21番地の6
名古屋営業所	名古屋市西区堀越3丁目19－17（太陽ビル2F）
寺塚原工場	富山県射水市寺塚原720番地の1

3. 環境保全関係の責任者、連絡先

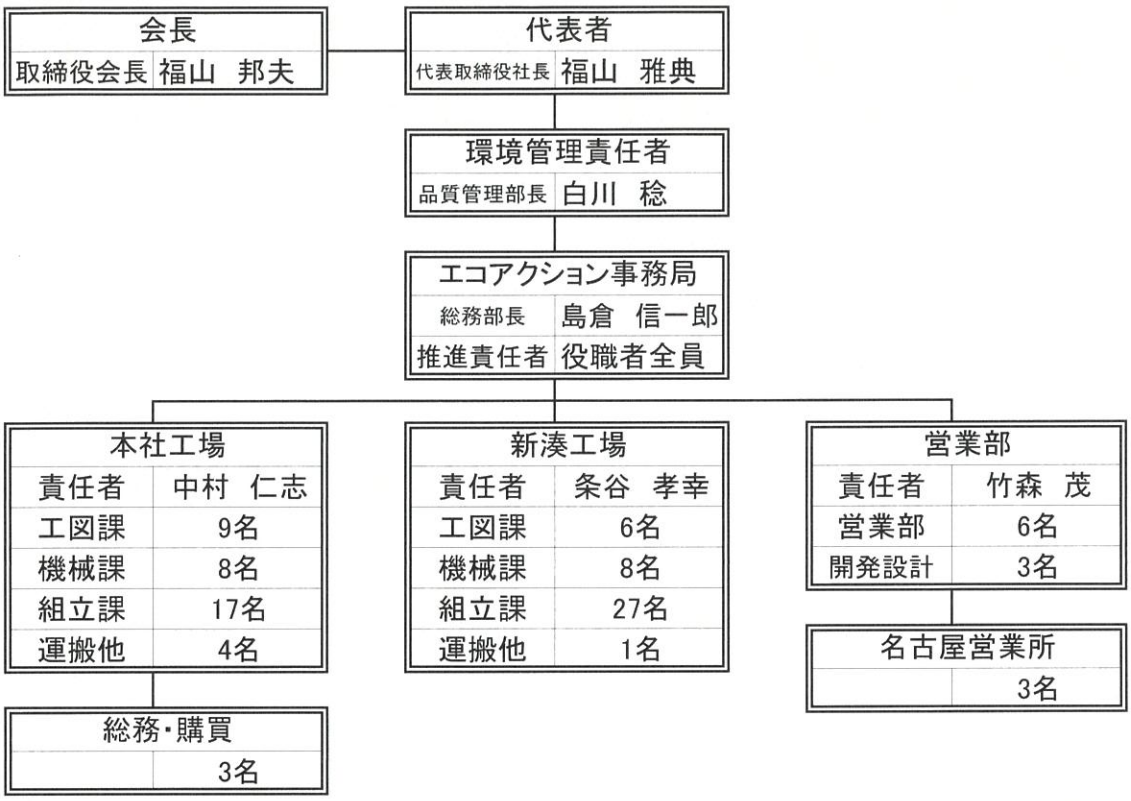
環境管理責任者	白川　稔
推進責任者	島倉　信一郎
連絡先	TEL　076－429－1433
	FAX　076－429－9219
	URL　http://www.y-ft.co.jp/
	E-mail　shimakura@y-ft.co.jp

4. 事業内容の概要
ステンレスサッシ・ドア等金属建具の製造・販売
手摺、建築用装飾金物の製造・販売
各種モニュメントの製作・企画デザイン
機械装置、部品等の製造

5. 事業の規模

売上高	令和 4年度実績	1,730百万円
従業員数	本社・本社工場	42名
	新湊工場、新湊北工場	53名
	名古屋営業所	3名
生産能力	本社・本社工場	月／80t
	新湊工場	月／80t
敷地面積	本社・本社工場	13,285㎡
	新湊工場	12,699㎡
	新湊北工場	15,639㎡
	婦中倉庫	5,049㎡
	寺塚原工場	10,001㎡
床面積	本社・本社工場	4,961㎡
	新湊工場	4,677㎡
	新湊北工場	3,368㎡
	婦中倉庫	860㎡
	寺塚原工場	1,751㎡

Ⅲ．実施体制（組織図）



役割と責任	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに必要な人材、資金、技術、設備等を用意 ・環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 ・環境経営目標、活動計画書及び環境経営活動レポートを承認 ・経営課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営の総責任者として、全体的な運営を管理 ・全体計画を立案し、推進責任者、事務局と共に計画を推進 ・環境経営活動の取組結果及び活動レポートを代表者へ報告
事務局	・システム運営上のデータ収集及び分析、文書作成、教育の実施等 ・環境経営活動の実績集計、活動レポートの作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成 ・環境管理責任者及び推進責任者と協議
推進責任者	・環境目標の進捗状況を管理し、取組内容の改善及び指示・指導 ・環境経営方針、行動指針の周知 ・各部門の問題点、課題の発見、是正処置の実施 ・各部門の取組状況の確認等を事務局へ報告
各工場および営業部門	・環境経営方針の理解及び環境への取組みを推進 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅳ. 環境経営目標

目標項目	毎年1%削減	目標基準年	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1. 二酸化炭素排出量の削減		2017年				
(1)消費電力量の削減 (Kg-Co2(電力量)／生産量)	会社全体	1,426	1,356	1,343	1,329	1,316
	消費電力量	947,351	900,921	891,911	882,902	873,893
	生産量	664	664	664	664	664
	本社工場	802	763	755	747	740
	新湊工場	1,778	1,691	1,674	1,657	1,640
(2)消費電力量の削減 (Kg-Co2(売上高／電力量)	会社全体	1,567	1,648	1,665	1,681	1,698
	売上高	1,484,664	1,484,664	1,484,664	1,484,664	1,484,664
	消費電力量	947,351	900,921	891,912	882,902	873,893
	本社工場	2,787	2,932	2,961	2,991	3,020
	新湊工場	1,257	1,322	1,335	1,349	1,362
(3)自動車燃料の削減	会社全体	39,053	37,135	36,764	36,392	36,021
① ガソリン消費量(L)	ガソリン(営業部)	22,225	21,134	20,922	20,711	20,500
② 軽油消費量(L)	軽油(製造部)	16,828	16,001	15,841	15,681	15,521
(4)灯油等使用量の削減	会社全体	14,167	13,466	13,331	13,197	13,062
	本社工場	6,434	6,116	6,055	5,994	5,933
	新湊工場	7,625	7,247	7,174	7,102	7,029
	婦中倉庫	0	0	0	0	0
	名古屋営業所	108	0	0	0	0
2. 廃棄物の削減	廃棄物全体	2019年	220.12	217.92	215.71	213.51
(1) 紙類、段ボール(t)	会社全体	7.96	7.72	7.65	7.57	7.49
	本社工場	1.37	1.36	1.34	1.33	1.32
	新湊工場	6.56	6.37	6.30	6.24	6.17
(2) 金属材料の廃棄量(t)	会社全体	147.15	142.77	141.34	139.91	138.48
	本社工場	74.63	72.41	71.68	70.96	70.24
	新湊工場	72.52	70.37	69.67	68.27	68.26
(3) 廃棄プラスティック(t)	会社全体	37.45	36.33	35.97	35.61	35.24
	本社工場	13.65	13.25	13.11	12.98	12.85
	新湊工場	21.00	20.37	20.17	19.97	19.76
	新湊北工場	2.80	2.71	2.69	2.66	2.63
	婦中倉庫	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(4) 木くず(t)	会社全体	34.30	33.27	32.94	32.61	32.28
	本社工場	10.90	10.57	10.47	10.36	10.26
	新湊工場	23.40	22.70	22.47	22.25	22.02
3. 総排水量(m3)	会社全体	5,920	5,743	5,686	5,628	5,571
	本社工場	2,095	2,032	2,012	1,992	1,971
	新湊工場	2,687	2,607	2,581	2,555	2,528
	新湊北工場	607	589	583	577	571
	ヤマシタ寮	531	515	510	505	499
4. グリーン商品の購入	会社全体	75.57%	79.62%	80.41%	81.21%	82.01%
5. 化学物質(PRTR法対象物質)の削減	会社全体	4.313	4.580	4.534	4.488	4.442
PRTR法対象物質使用量／鉄の加工重量	本社工場	3.818	4.270	4.227	4.184	4.142
	新湊工場	5.763	5.485	5.430	5.375	5.320
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組目標						
(1) 金属材料の廃棄率の改善(率) 廃棄金属クズ／主要材料使用量	会社全体	18.28%	17.74%	17.56%	17.39%	17.21%
	本社工場	18.93%	18.36%	18.18%	18.00%	17.81%
	新湊工場	17.66%	17.14%	16.97%	16.79%	16.62%
(2)コピー用紙使用量の削減(Kg)	会社全体	3,275	3,115	3,083	3,052	3,021
	本社工場	1,352	1,286	1,273	1,260	1,247
	新湊工場	1,923	1,829	1,810	1,792	1,774

Ⅴ．環境経営計画（2022年度の取組）

1．二酸化炭素排出量の削減

(1) 節電活動

① 消灯担当者を任命し、休憩時間の照明機器の消灯を徹底する。
② 明るい日の照明は、工場中央部以外は消灯する。
③ 不稼働機器の電源管理（待機電力量を減らす）
④ コピー機等の省エネモードにて使用する。

(2) 太陽光発電

① 新湊工場の屋根に、208.8kwh、本社工場の屋根に252.53kwhの発電能力のある太陽光パネルを設置し自然エネルギーの活用を推進している。
② 2022年度では会社全体で 510,040kWhの発電がありました。二酸化炭素排出量に換算すると、年間 253,490Kg-CO2の削減効果がありました。

(3) 冷暖房の室温管理（A／C）

① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。
② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。

(4) 設備機器の検討

① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。
② 機械設備および機器の稼動時間を少なくする。
③ 省エネ設備の導入を検討する。

(5) 工程管理による残業時間の削減

① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、効率の良い生産体制を築く（無駄な時間外を無くす）。
② 作業停滞が生じないよう、工程時間の打合せを毎日行い、最優先作業を作業員に周知する。
③ 生産情報システムを活用し、工程管理による生産性の向上を目指す。

(6) 灯油使用量の削減

① 消費量を定め計画購入する（暖房用）。
② 燃焼調整をこまめに行う。

(7) 自動車燃料の削減

① 運行予定表の作成による計画走行を実施する（トラック便）。
② エコ運転の推進（アイドリング禁止等）。
③ 運転日報の制定及び走行距離の記録（営業車）。
④ 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。

2．廃棄物の削減

(1) 紙類、段ボールの有効利用

① 出荷梱包に、不要な段ボール及び木枠パレットを再利用する。
② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。

(2) 端材（残材）の有効利用

① 端材等のスクラップ材の完全分別化（完全リサイクル）を実施している。
② 端材を利用した商品開発を促進する。

(3) 廃棄プラスチックの削減
① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。
② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。

(4) 木くずの削減
① パレットの木くずを再利用する人に引き取ってもらう。
② 材料業社に引取り交渉をする。

3. 排水量の削減
(1) 節水運動の推進
① 節水を周知するためポスターを作成する。(蛇口設置箇所)
② 清掃時の節水(作業場モップ清掃時等)に努める。

(2) 融雪放水の管理
① 20Cm以上の積雪又は天気予報等で20Cm以上の積雪が予想される場合に放水する。
② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。

4. 化学物質(PRTR法対象物質)の削減
① 化学物質取扱者に対する教育を行う。
② 化学物質の保管・管理を指導する。(安全パトロール)

5. グリーン商品の購入
① 事務用品において、グリーン商品の購入に努める。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組
(1) 金属材料の廃棄率の改善(材料のムダを無くす)
① 集約加工の推進(ネスティング歩留りの向上)。
② 在庫管理の確立(適正サイズにて加工)。
③ 不良品の削減(再発防止策の構築)。
④ 残材使用を含む材料の適正選択を指示する。

(2) 製品の再作成の削減
① 図面の確認を徹底し、作図ミスを減らす。
② 切断ミス及び曲げ加工の精度を向上し、機械加工ミスを減らす。
③ 穴あけ加工ミスや溶接加工ミスを減らす。

(3) コピー用紙の使用量削減
① 工図課でのバラ図コピー方式を検討する。(両面コピー化)
② バラ図配布部数の見直しする。(ムダ配布の排除)
③ サイズを縮小化にて使用する。【例】B4サイズのコピー用紙 ⇒ A4サイズに変更
④ 別件での使用済み用紙の裏面使用を推進する。
⑤ Ipadoの導入により、図面コピーの削減を図る。
⑥ ペーパーレス化の促進。

Ⅵ. 環境負荷の実績及び目標と評価

1．二酸化炭素排出量の削減

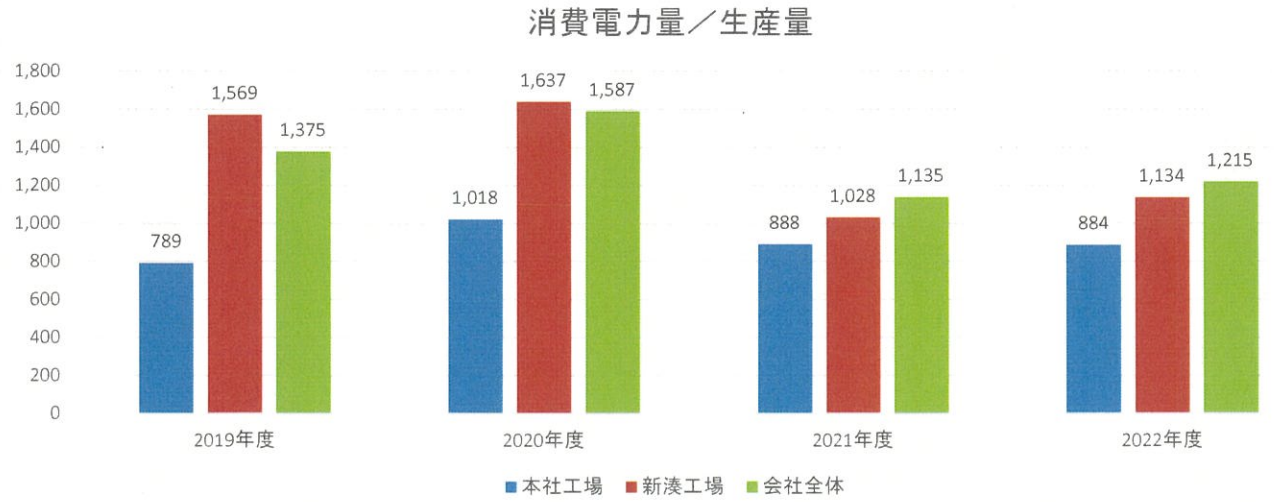
(1) 生産量に対する消費電力量の削減

・ 当社は生産量が増えれば消費電力量も増加するので、目標は下記のとおり消費電力量を生産量で割った数値を目標としています。

項　　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
本社工場（電力量／生産量）	789	1,018	888	884	763	△ 121	86.34%
消費電力量(kWh)	255,679	255,182	248,000	247,591	267,500	19,909	108.04%
生産量(t)	324.20	250.64	279.40	280.20	350.64	△ 70.44	79.91%
新湊工場（電力量／生産量）	1,569	1,637	1,028	1,134	1,691	558	149.21%
消費電力量(kWh)	531,403	485,188	493,220	407,903	530,197	122,294	129.98%
生産量(t)	338.70	296.43	479.70	359.85	313.47	46.38	114.80%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	105,367	101,119	96,274	96,377	88,800	△ 7,577	92.14%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	11,934	11,152	2,705	7,812	2,000	△ 5,812	25.60%
寺塚原工場							
消費電力量(kWh)		9,727	14,919	12,116	10,000	△ 2,116	82.54%
テプコの排出量(Kg－CO^2)		426,635	0	0	0	0	#DIV/0!
北電の排出量(Kg－CO^2)	519,116	10,982	424,994	383,584	446,553	62,969	116.42%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	6,802	6,036	6,266	5,822	2,424	△ 3,398	41.64%
中電の排出量(Kg－CO^2)	3,211	2,728	2,657	2,469	1,028	△ 1,441	41.64%
会社全体（電力量／生産量）	1,375	1,587	1,135	1,215	1,357	142	111.66%
消費電力量(kWh)	911,185	868,404	861,384	777,621	900,921	123,300	115.86%
生産量(t)	662.90	547.07	759.10	640.05	664.11	△ 24.06	96.38%
会社全体の排出量(Kg－CO^2)	522,326	440,345	427,650	386,053	447,581	61,528	115.94%

二酸化炭素の総排出量(Kg－C	642,745	554,471	557,456	505,972	【電気・ガソリン・軽油・灯油・LPGの合計】

(注) 二酸化炭素の排出係数は、北陸電力は調整後排出係数(令和2年度実績 0.497-CO2/kWh) で算出しました。
名古屋営業所は中部電力の排出係数(令和2年度 0.424-CO2/kWh) で算出しました。



・ 2022年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、777,621kWhとなり目標比 123,300kWh減少し、生産量は640.05tで目標比 24.06t減少した結、目標値(消費電力量÷生産量)では、1,215となり目標達成率は 111.66% となりました。

評価としては、目標比消費電力量減少、生産量増加により、目標は達成できました。

(2) 売上高に対する消費電力量の削減

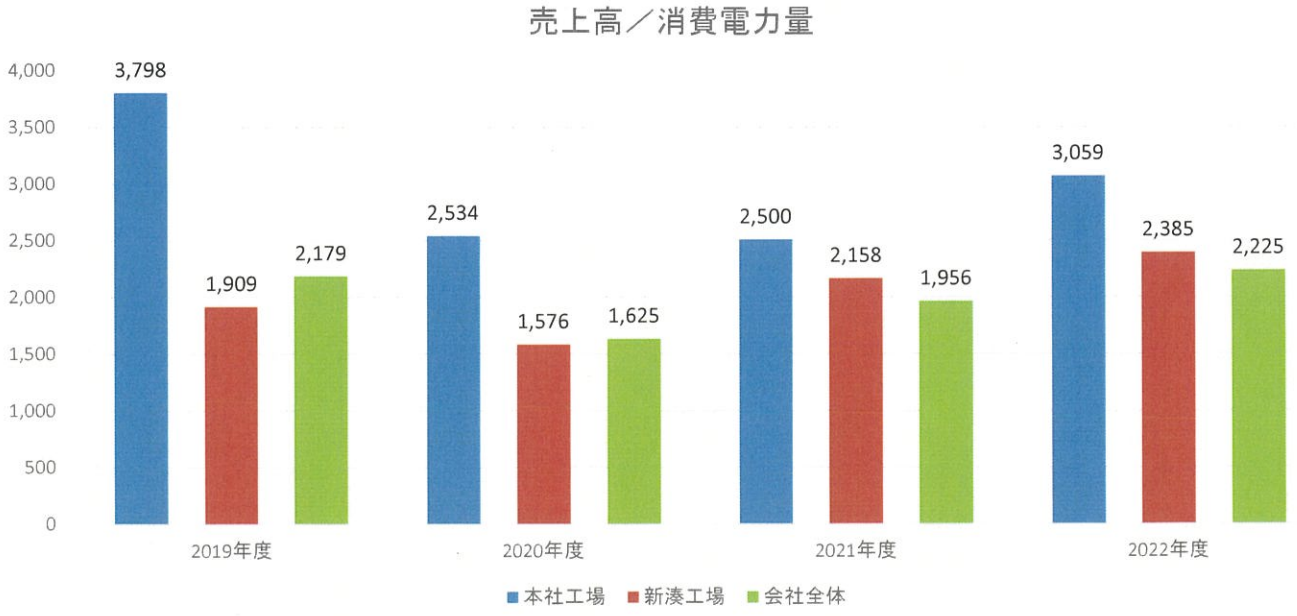
・ 当社は売上高の増加が利益の増強につながるが生産量と同様に電力量も増加するので、目標は下記のとおり売上高を消費電力量で割った数値を目標としています。

項　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
本社工場(売上高／電力量)	3,798	2,534	2,500	3,059	2,932	127	104.34%
消費電力量(kWh)	255,679	255,182	248,000	247,591	267,500	19,909	108.04%
売上高(千円)	970,993	646,526	620,045	757,412	784,310	△ 26,898	96.57%
新湊工場(売上高／電力量)	1,909	1,576	2,158	2,385	1,322	1,063	180.40%
消費電力量(kWh)	531,403	485,188	493,220	407,903	530,197	122,294	129.98%
売上高(千円)	1,014,422	764,685	1,064,550	972,714	700,848	271,866	138.79%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	105,367	101,119	96,377	96,377	88,800	△ 7,577	92.14%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	11,934	11,152	2,705	7,812	2,000	△ 5,812	25.60%
寺塚原工場							
消費電力量(kWh)		9,727	14,919	12,116	10,000	△ 2,116	82.54%
テプコの排出量(Kg－CO^2)		426,635	0	0	0	0	#DIV/0!
北電の排出量(Kg－CO^2)	519,116	10,982	424,994	383,584	446,553	62,969	116.42%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	6,802	6,036	6,266	5,822	2,424	△ 3,398	41.64%
中電の排出量(Kg－CO^2)	3,211	2,728	2,657	2,469	4,294	1,825	173.95%
会社全体(売上高／電力量)	2,179	1,625	1,956	2,225	1,648	577	135.01%
消費電力量(kWh)	911,185	868,404	861,384	777,621	900,921	123,300	115.86%
売上高(千円)	1,985,415	1,411,211	1,684,595	1,730,126	1,484,664	245,462	116.53%
会社全体の排出量(Kg－CO^2)	522,326	440,345	427,650	386,053	450,847	64,794	116.78%

(注)

北陸電力は調整後排出係数(令和2年度実績 0.497-CO^2/kWh) で算出しました。

名古屋営業所は中部電力の排出係数(令和2年度 0.424-CO^2/kWh) で算出しました。



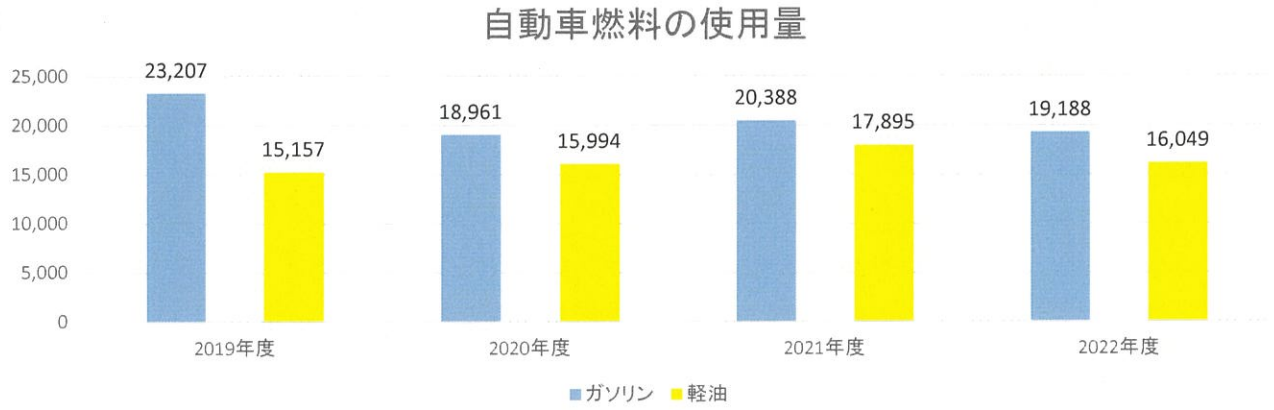
・ 2022年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、777,621kWhとなり目標比 123,300kWh減少し、売上高は 目標比245,462千円増加した結果目標値(売上高÷消費電力量)では、2,225となり目標達成率は 135.01% となりました。

評価としては、売上高の増加に対し消費電力量が減少した結果、目標は達成することができました。

(3) 自動車燃料の削減

項　目		2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
自動車燃料	ガソリン	23,207	18,961	20,388	19,188	21,134	1,946	110.14%
	排出量(Kg－CO^2)	53,887	44,027	47,341	44,555	49,072	4,518	110.14%
	軽油	15,157	15,994	17,895	16,049	16,001	△ 48	99.70%
	排出量(Kg－CO^2)	39,696	41,888	46,867	42,032	41,908	△ 125	99.70%
	会社全体	38,364	34,955	38,283	35,237	37,135	1,898	105.39%
	排出量(Kg－CO^2)	93,583	85,916	94,208	86,587	90,980	4,393	105.07%

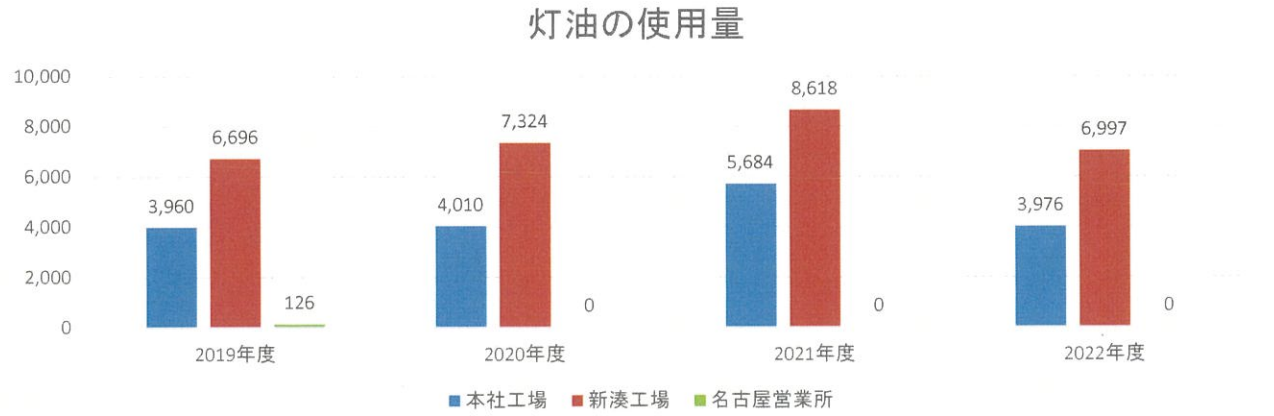


・ 2022年度の結果と評価

目標比でガソリンの減少が大きく、軽油は増加したが、合計で1,898L減少しました。
結果、自動車燃料の削減目標は、会社全体で 105.39%となり目標達成できました。

(4) 灯油使用量の削減

項　目		2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
灯油使用量	本社工場	3,960	4,010	5,684	3,976	6,116	2,140	153.83%
	新湊工場	6,696	7,324	8,618	6,997	7,247	250	103.57%
	名古屋営業所	126	0	0	0	0	0	#DIV/0!
	会社全体	10,782	11,334	14,302	10,973	13,363		121.78%
	排出量(Kg－CO^2)	26,836	28,210	35,598	27,312	33,261	5,949	121.78%

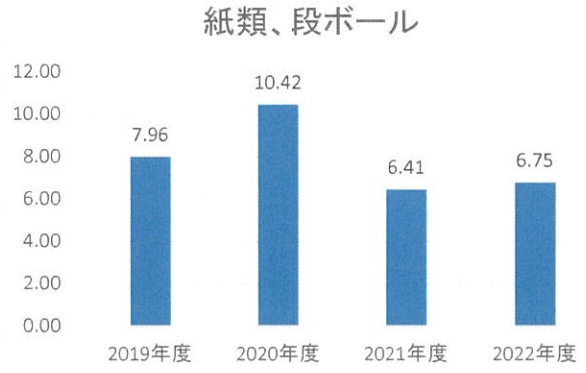


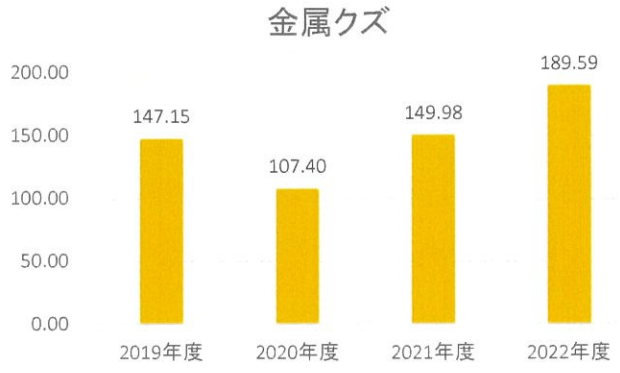
・ 2022年度の結果と評価

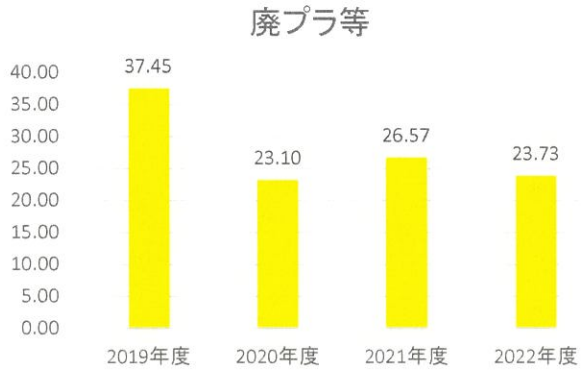
灯油の使用量は、前年比残業時間の減少から、目標比本社工場、新湊工場ともにが減少した結果、
会社全体では 10,973Lの使用量となり目標比2,390L減少し、達成率121.78%で目標達成となりました。
※ LPGに関しては、実習生寮の使用分であり生活費の為、除外致します。

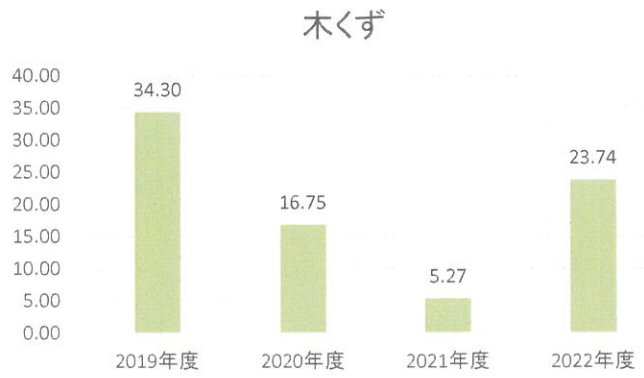
2. 廃棄物の総量の削減

項　　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
紙類、段ボール (t)	7.96	10.42	6.41	6.75	7.72	0.97	114.40%
本社工場	1.40	6.76	1.99	3.15	1.36	△ 1.79	43.06%
新湊工場	6.56	3.66	4.42	3.60	6.37	2.77	176.83%
金属端材 (t)	147.15	107.40	149.98	189.59	142.78	△ 46.81	75.31%
本社工場	74.63	49.93	51.64	104.18	72.41	△ 31.77	69.50%
新湊工場	72.52	57.47	98.34	85.41	70.37	△ 15.04	82.39%
廃プラ等 (t)	37.45	23.10	26.57	23.73	36.33	12.60	153.11%
本社工場	13.65	6.30	12.22	7.70	13.25	5.55	172.03%
新湊工場	21.00	14.20	12.25	15.33	20.37	5.04	132.90%
新湊北工場	2.80	1.90	2.10	0.70	2.71	2.01	387.51%
婦中倉庫	0.00	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00%
木くず (t)	34.30	16.75	5.27	23.74	33.27	9.53	140.16%
本社工場	10.90	12.35	0.69	9.16	10.57	1.41	115.43%
新湊工場	23.40	4.40	4.58	14.58	22.70	8.12	155.70%
廃棄物量	226.86	157.67	188.23	243.81	220.11	△ 23.70	90.28%







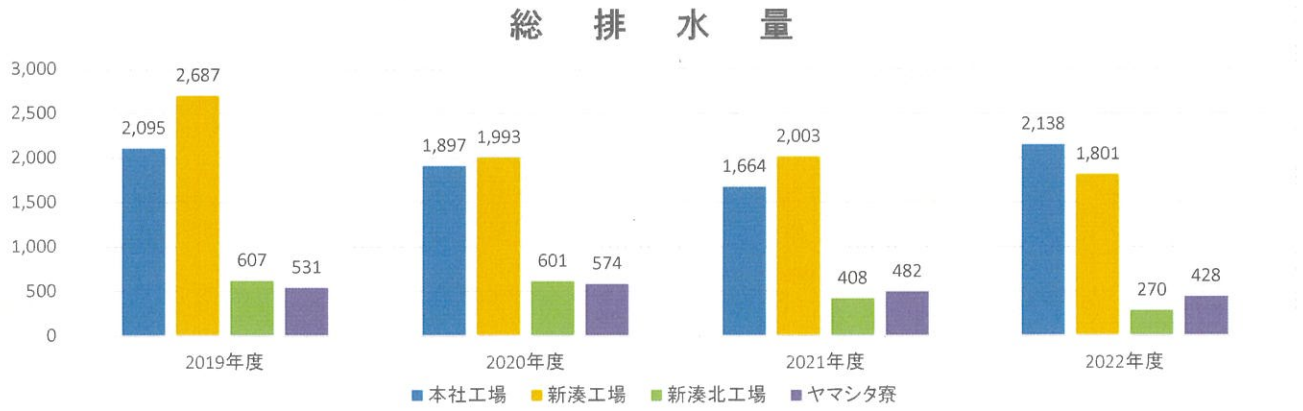


・ 2022年度の結果と評価

対前年比、金属端材の一斉廃棄を実施の結果、金属くずは増加、紙類・木くず,廃プラは減少しましたが廃棄物量全体では243.81t、目標比23.70t 増加し、達成率90.28%で未達となりました。

3. 総排水量の削減

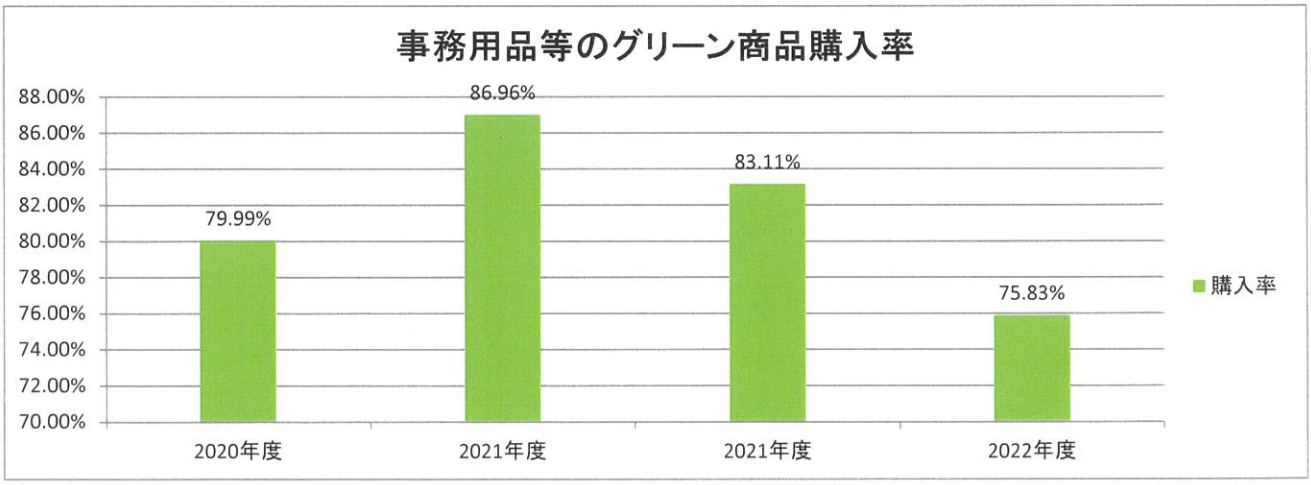
項　目	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
本社工場	m³	2,095	1,897	1,664	2,138	2,032	105	95.09%
新湊工場	m³	2,687	1,993	2,003	1,801	2,607	△ 806	144.73%
新湊北工場	m³	607	601	408	270	589	△ 319	218.17%
ヤマシタ寮	m³	531	574	482	428	515	△ 87	120.28%
寺塚原工場	m³		34	245	85	0	85	0.00%
総排水量		5,920	5,099	4,802	4,722	5,743	△ 1,021	121.63%



・ 2022年度の結果と評価
会社全体で目標比1,022㎥減少し達成することができました。

4. グリーン商品の購入率アップ

項　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
グリーン商品の購入率	79.99%	86.96%	83.11%	75.83%	79.62%	-3.79%	95.24%
事務用品等購入額	697,291	753,531	862,994	458,089	800,000	△ 341,911	57.26%
内グリーン商品の購入額	557,781	655,267	717,257	347,374	636,960	△ 289,586	54.54%



・ 2022年度の結果と評価
グリーン商品を優先して購入してきましたが、今期95.24%で未達となりました。

5. 化学物質（PRTR法対象物質）使用量の削減

（1）本社工場

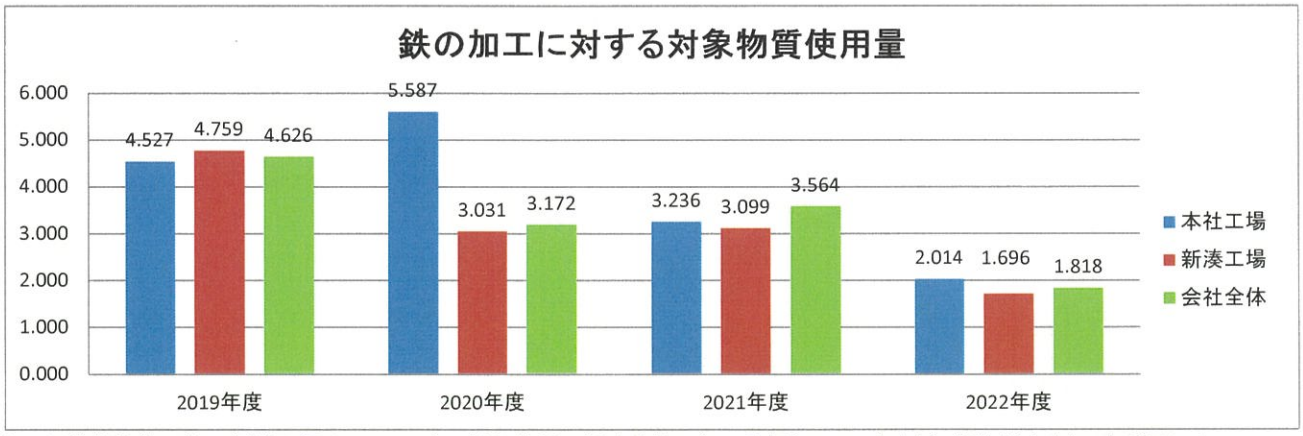
項　目	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量／鉄の加工重量	Kg/t	4.527	5.587	3.236	2.014	4.270	2.256	212.06%
鉄の加工重量	t	168.17	118.05	165.44	131.32	150.00	△ 18.68	114.22%
PRTR法対象物質	Kg	761	660	535	264	641	376	242.23%
トルエン	Kg	312	360	312	248	344	96	138.51%
キシレン	Kg	195	130	78	7	100	93	1358.70%
エチルベンゼン	Kg	136	91	55	5	100	94	1943.36%
その他	Kg	118	79	55	4	98	94	2474.62%

（2）新湊工場

項　目	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量／鉄の加工重量	Kg/t	4.759	3.031	3.099	1.696	5.485	3.789	323.32%
鉄の加工重量	t	125.10	117.70	144.94	210.32	120.00	△ 90.32	57.06%
PRTR法対象物質	Kg	595	357	449	357	658	301	184.47%
トルエン	Kg	468	300	383	308	450	142	145.91%
キシレン	Kg	63	28	32	26	60	34	230.33%
エチルベンゼン	Kg	47	22	27	22	49	26	217.90%
その他	Kg	18	7	0	0	100	100	#DIV/0!

（4）会社全体

項　目	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量／鉄の加工重量	Kg/t	4.626	3.172	3.564	1.818	4.580	2.761	251.86%
鉄の加工重量	t	293.27	310.38	276.26	341.64	270.00	△ 71.64	79.03%
PRTR法対象物質	Kg	1,357	985	985	621	1,237	615	199.04%
トルエン	Kg	780	695	695	556	794	237	142.61%
キシレン	Kg	257	110	110	33	160	127	478.90%
エチルベンゼン	Kg	183	118	118	27	149	122	542.41%
その他	Kg	136	62	62	4	134	130	3401.02%



（注）化学物質使用量の削減目標は、PRTR法の対象物質に対する鉄の加工重量としていますが、単位が小さくて表が見にくいので、鉄の加工を 1tするのにトルエン等の化学物質を何Kg使用したかを表示しています。

○ 化学物質の削減目標 ＝ $\dfrac{\text{PRTR法対象物質の使用量}}{\text{鉄の加工重量}}$

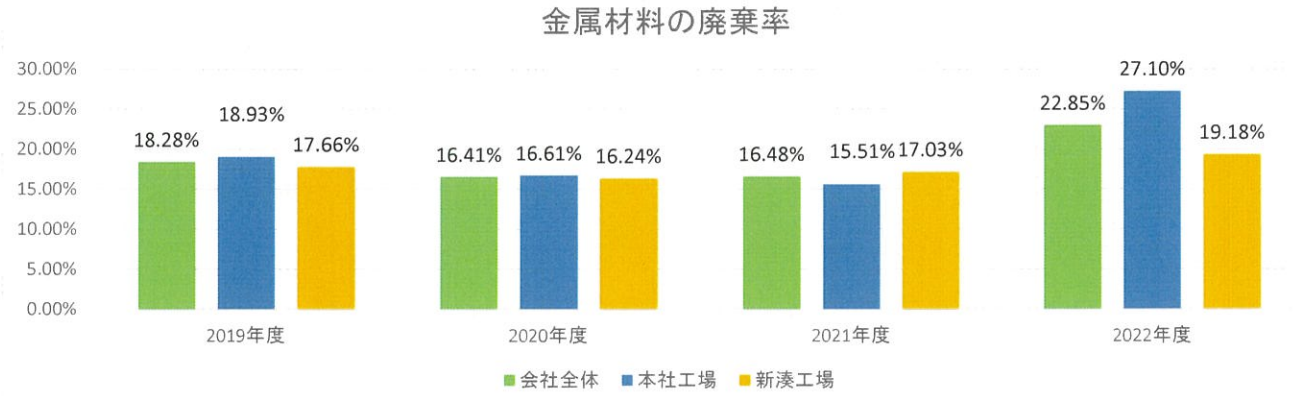
・2022年度の結果と評価

化学物質（PRTR法対象物質）使用量は 目標比615Kg減少し、鉄の加工重量は 71..64t増加しました。
化学物質の使用は錆止め塗装に使用しており、目標値は化学物質使用量÷鉄の加工重量としているので、会社全体の目標達成率は 251.86%となりました。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

(1) 金属材料の廃棄率の改善

項　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
金属材料の廃棄率	18.28%	16.41%	16.48%	22.85%	17.74%	−5.11%	77.62%
主要材料使用量(t)	804.83	654.47	910.30	829.63	804.86	△ 24.77	97.01%
金属クズ(t)	147.15	107.40	149.98	189.59	142.77	△ 46.82	75.30%
本社工場の金属材料廃棄率	18.93%	16.61%	15.51%	27.10%	18.36%	−8.74%	67.76%
主要材料使用量(t)	394.22	300.57	332.84	384.38	394.29	9.91	102.58%
金属クズ(t)	74.63	49.93	51.64	104.18	72.41	△ 31.77	69.50%
新湊工場の金属材料廃棄率	17.66%	16.24%	17.03%	19.18%	17.14%	−2.05%	89.34%
主要材料使用量(t)	410.61	353.90	577.46	445.25	410.57	△ 34.68	92.21%
金属クズ(t)	72.52	57.47	98.34	85.41	70.36	△ 15.05	82.38%

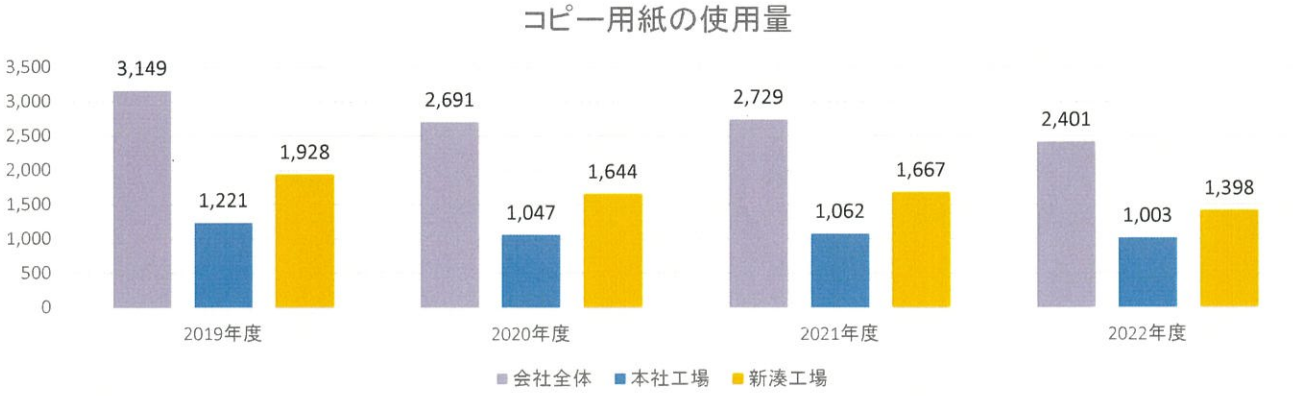


・ 2022年度の結果と評価

会社全体の主要材料の使用量は目標比 24.77t、金属端材の一斉廃棄を実施の結果,金属クズは46.82t増加し目標達成率は 77.62%で未達となりました。

(2) コピー用紙の使用量の削減

項　目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	目標差	達成率
コピー用紙の使用量(Kg)	3,149	2,691	2,729	2,401	3,115	714	129.72%
本社工場	1,221	1,047	1,062	1,003	1,286	283	128.22%
新湊工場	1,928	1,644	1,667	1,398	1,829	431	130.79%

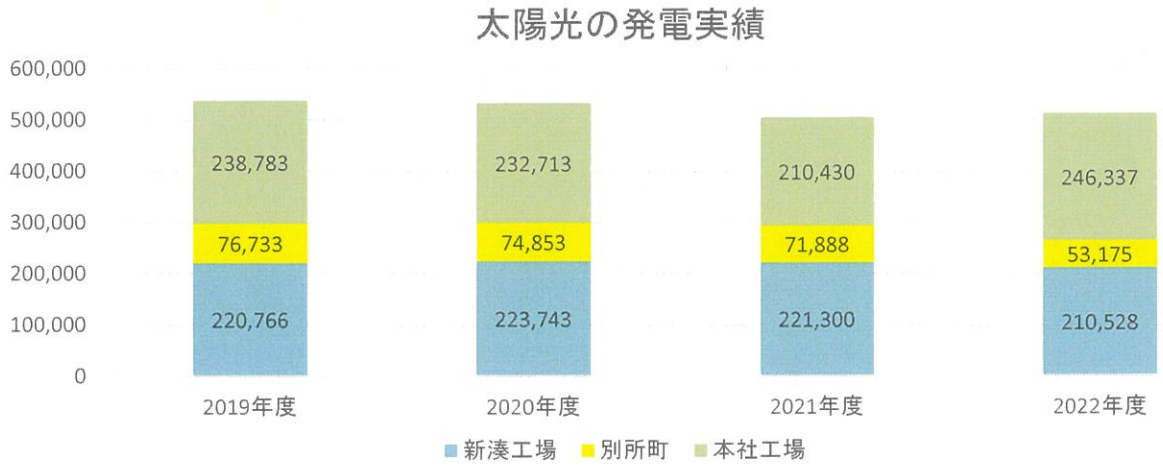


・ 2022年度の結果と評価

コピー用紙の使用量は、会社全体で 2,401Kg、達成率129.72%となりました。

(3) 太陽光発電への取組み

項　　目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
太陽光発電　　(kWh)	536,282	531,309	503,618	510,040
新湊工場発電 (kWh)	220,766	223,743	221,300	210,528
別所町発電　(kWh)	76,733	74,853	71,888	53,175
本社工場発電 (kWh)	238,783	232,713	210,430	246,337
会社全体の排出量(Kg－CO^2)	307,825	279,469	250,298	253,490



・ 太陽光発電の取組みは、クリーンなエネルギーであり地球温暖化への貢献ができると考えています。
しかし、太陽光発電は天候に左右されるので目標値は設定していません。
2022年度では 510,040kWhの発電をすることができました。
別所町は 北陸フロンティアに売却した為、R4年12月までの集計です。

Ⅶ. 環境経営目標の実績と評価

1. 取組状況

全体取組項目	取組内容		実績と評価			
(1) 環境方針	当社の方針に沿って策定		本社工場	新湊工場	新湊北・名古屋他	会社全体
(2) 環境目標とその実績	1. 二酸化炭素排出量の削減		目標達成率			
	1t当りの消費電力量(電力量／生産量)		86.34%	149.21%		111.66%
	1t当りの消費電力量(売上高／電力量)		104.34%	180.40%		135.01%
	自動車燃料	ガソリン消費量の削減			110.14%	105.39%
		軽油消費量の削減			99.70%	
	灯油	灯油使用量の削減	153.83%	103.57%	0.00%	121.78%
	2. 廃棄物量の削減		目標達成率			90.28%
	紙類、段ボールの廃棄量の削減		43.06%	176.83%		114.40%
	金属材料の廃棄物の削減		69.50%	82.39%		75.31%
	廃棄プラスチック廃棄量の削減		172.03%	132.90%	387.51%	153.11%
	木くず廃棄量の削減		115.43%	155.70%		140.16%
	3. 総排水量の削減		95.09%	144.73%	218.17%	121.63%
	4. グリーン商品の購入				95.24%	95.24%
	5. 化学物質排出率の削減		212.06%	323.32%		251.86%
	6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組					
	金属材料の廃棄率の改善		67.76%	89.34%		77.62%
	コピー用紙の使用量の削減		128.22%	130.79%		129.72%
(3) 環境活動計画の内容	節電活動(休憩時の消灯等)		△	○	○	○
	冷暖房の室温管理(温度設定)		○	○	○	○
	設備機器の検討(省エネ設備機器等)		△	○	△	○
	工程管理による残業時間の削減		○	○	○	○
	自動車燃料の削減(エコドライブの推進)		—	—	—	○
	灯油使用量の削減(灯油ストーブの管理)		○	○	—	○
	紙類、段ボールの有効利用		×	○	—	○
	端材(残材)の有効利用		×	×	—	×
	廃棄プラスチックの削減		○	○	○	○
	木くず廃棄量の削減		○	○	—	○
	節水活動の推進		×	○	—	○
	融雪放水の管理		○	—	—	○
	化学物質の保管・管理を指導		○	○	—	○
	グリーン商品の購入					×
	金属材料の廃棄率の改善		×	×	—	×
	コピー用紙の使用量削減		○	○	—	○

2022年度

環境目標及び活動計画書

承認	確認

方針：二酸化炭素排出量の削減

電力の削減

【基準】2017年度
2017年度消費電力 947,351kwh
2017年度生産重量 664.11t
2017年度(消費電力/生産重量) 1,426
【目標】生産量に対する消費電力
2022年度目標 1,356kWh
【中期目標】(消費電力/生産重量)
2023年度目標 1,343
2024年度目標 1,329
2025年度目標 1,316

環境活動等：電力節減対策説明（責任部門）
・休憩中の消灯
・エアコンの設定温度管理
・機器の省エネモード活用
・効率設備の検討
・不稼働機器の電源管理
・保守点検の適正化（全部門）
・残業時間の削減

項目		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2017年度(基準年)	消費電力 kWh	63,450	65,505	79,918	82,969	78,987	77,296	80,232	79,899	83,312	85,912	85,388	84,483	947,351
	生産重量 /t	51,530	58,575	69,081	50,562	53,480	59,677	57,432	61,746	49,313	68,188	35,660	48,868	664,112
	月別 kWh/t	1,231	1,118	1,157	1,641	1,477	1,295	1,397	1,294	1,689	1,260	2,395	1,729	1,426
2022年度目標	目標 kWh/t	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356	1,356
2022年度(実績)	消費電力 kWh	60,997	51,517	59,942	67,114	63,771	61,811	62,712	65,700	71,746	73,498	70,000	68,813	777,621
	生産重量 /t	33,504	50,037	54,318	47,520	56,760	58,178	57,784	49,696	45,623	55,581	61,453	69,589	640,044
	月別 kWh/t	1,821	1,030	1,104	1,412	1,124	1,062	1,085	1,322	1,573	1,322	1,139	989	1,215
評価		×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○

定期的な確認・評価・是正
- 上半期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：生産重量は119t減少、消費電力は83,763kwh減少した結果、目標達成しました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：消費電力量は 777,621kWhとなり、目標比 123,300kWh減少し、生産量は 24.06t減少しましが、売上高は前期比45,531千円増加した結果、生産量ベース、売上高ベースとも達成しました。

【目標】売上高に対する消費電力

2022年度目標 1,648円
【中期目標】(売上高/消費電力)
2023年度目標 1,665
2024年度目標 1,681
2025年度目標 1,698

環境活動等：（責任部門）
・新規事業への挑戦
ホームドアの受注
産業機械分野への注力

売上高に対する消費電力		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2017年度(基準年)	消費電力 kWh	63,450	65,505	79,918	82,969	78,987	77,296	80,232	79,899	83,312	85,912	85,388	84,483	947,351
	売上高（千円）	89,494	120,595	129,027	99,015	136,283	149,260	118,513	135,785	99,891	132,815	159,216	114,770	1,484,664
	月別 kWh/t	1,410	1,841	1,614	1,193	1,725	1,931	1,477	1,699	1,199	1,546	1,865	1,358	1,653
2022年度目標	目標 kWh/円	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648
2022年度(実績)	消費電力 kWh	60,997	51,517	59,942	67,114	63,771	61,811	62,712	65,700	71,746	73,498	70,000	68,813	777,621
	売上高（千円）	137,212	163,775	136,606	165,394	216,767	96,307	145,569	102,661	135,826	176,846	138,690	114,472	1,730,125
	月別 kWh/t	2,249	3,179	2,279	2,464	3,399	1,558	2,321	1,563	1,893	2,406	1,981	1,664	2,225
評価		○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○

定期的な確認・評価・是正
- 下半期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：売上は後半順調に推移し、消費電力量も節約でき目標は達成できた。

自動車燃料の削減

【基準】2017年度（ガソリン+軽油）
2017年度使用量 39,053L
2022年度目標 37,135L
【中期目標】（ガソリン+軽油）毎年1%削減
2023年度目標 36,764L
2024年度目標 36,392L
2025年度目標 36,021L

環境活動等：自動車燃料削減対策説明（責任部門）
・アイドリングストップ
・急発進、急停止禁止
・社内冷暖房の適正使用（営業部門）
・不要物の積載禁止
・タイヤ空気圧の適正化（製造部門）
・乗換時低燃費車へ乗換

自動車燃料の削減		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2017年度(基準年)	ガソリン L	1,567	1,505	1,790	2,048	1,926	2,092	1,717	2,082	2,016	1,641	2,008	1,832	22,224
	軽油 L	1,136	1,002	1,585	1,450	1,271	1,118	1,358	1,569	2,821	1,155	1,593	769	16,827
	月別合計 L	2,703	2,507	3,375	3,498	3,197	3,210	3,075	3,651	4,837	2,796	3,095	2,601	38,545
2022年度目標	目標 L	3,095	3,095	3,095	3,095	3,095	3,095	3,095	3,094	3,094	3,094	3,094	3,094	37,135
2022年度(実績)	ガソリン L	1,479	1,593	1,508	1,747	1,594	1,528	1,546	1,537	1,931	1,330	1,588	1,806	19,188
	軽油 L	1,587	1,516	1,313	1,501	1,198	1,602	1,257	1,303	1,557	880	1,162	1,174	16,049
	月別合計 L	3,066	3,109	2,821	3,247	2,792	3,131	2,804	2,840	3,488	2,210	2,749	2,979	35,237
評価		○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○

定期的な確認・評価・是正
- 上半期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：新型コロナ感染対策が継続する中、ガソリン、軽油とも使用量は減少した。
- 下半期：同上
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：ガソリン、軽油とも使用量は前期比合計で3,046L減少。目標比合計では1,898L減少し達成率105.39%で達成となりました。

灯油使用量の削減

【基準】2017年度
2017年度使用量 14,167L
2022年度目標 13,466L
【中期目標】（灯油） 毎年1%削減
2023年度目標 13,331L
2024年度目標 13,197L
2025年度目標 13,062L

環境活動等：灯油使用量削減対策説明（責任部門）
・灯油の計画購入
・ON、OFFをこまめに行う（製造部門）
・ストーブの適正使用

灯油の使用量		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2017年度基準	灯油 L						208		4,951	3,061	3,202	2,745		14,167
2022年度目標	目標 L							2,694	2,693	2,693	2,693	2,693	0	13,466
2022年度実績	灯油 L							135	2,633	3,146	3,636	1,423		10,973
評価								○	○	×	×	○		○

定期的な確認・評価・是正
- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：今年の冬は比較的低温期が少なく、使用料は減少し目標は未達となりました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：2020年度に名古屋営業所は灯油使用機器を廃止。今年度は低温期が少なく目標達成率し121.78%で達成となりました。

廃棄物量の削減

紙類、段ボール等の廃棄量削減

【基準】2019年度
2019年度使用量 7.96t
2022年度目標 7.72t
【中期目標】 毎年1%削減
2023年度目標 7.64t
2024年度目標 7.57t
2025年度目標 7.49t

廃プラの廃棄量削減

【基準】2019年度
2019年度使用量 37.45t
2022年度目標 36.33t
【中期目標】 毎年1%削減
2022年度目標 35.97t
2023年度目標 35.60t
2024年度目標 35.24t

紙類の廃棄量		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2019年度基準	紙類等 t	0.48	0.53	0.74	0.49	1.31	0.57	0.50	0.57	0.90	0.08	0.58	1.21	7.96
2022年度目標	目標 t	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.65	0.65	0.65	0.65	7.72
2022年度実績	紙類等 t	1.11	0.00	0.81	0.67	0.41	0.31	0.61	0.50	0.82	0.16	0.53	0.82	6.75
評価		×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○

定期的な確認・評価・是正
- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：今期、目標比0.97t削減でき114.40%で達成できました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：ペーパレスを推進しコピー用紙の使用量削減を継続したい。

金属端材の廃棄量削減

【基準】2019年度
2019年度使用量 147.15t
2022年度目標 142.77t
【中期目標】 毎年1%削減
2023年度目標 141.34t
2024年度目標 139.91t
2025年度目標 138.48t

木くずの廃棄量削減

【基準】2019年度
2019年度使用量 34.30t
2022年度目標 33.27t
【中期目標】 毎年1%削減
2022年度目標 32.94t
2023年度目標 32.60t
2024年度目標 32.28t

金属端材の廃棄量		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2019年度基準	金属材料 t	14.45	41.15	0.00	0.00	11.40	0.00	0.00	34.06	0.00	0.59	45.50	0.00	147.15
2022年度目標	目標 t	11.90	11.90	11.90	11.90	11.90	11.90	11.90	11.90	11.90	11.89	11.88		142.77
2022年度実績	金属材料 t	31.01	77.91	0.00	0.00	17.68	0.00	0.00	45.67	17.32	0.00	0.00	0.00	189.59
評価		×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×

廃プラの廃棄量		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2019年度基準	廃プラ t	2.45	2.10	2.80	2.10	0.00	2.80	8.40	2.80	2.80	2.80	5.60	2.80	37.45
2022年度目標	目標 t	3.03	3.03	3.03	3.03	3.03	3.03	3.03	3.03	3.03	3.02	3.02	3.02	36.33
2022年度実績	廃プラ t	2.31	2.31	0.77	2.35	2.31	2.31	1.47	1.58	4.62	0.00	2.31	1.40	23.73
評価		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

木くずの廃棄量		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2019年度基準	木くず t	11.78	0.00	6.50	0.00	2.86	0.00	0.00	4.16	6.06	0.00	0.00	2.94	34.30
2022年度目標	目標 t	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.78	2.78	2.78	33.27
2022年度実績	木くず t	0.00	0.00	0.00	10.69	4.20	0.48	0.00	3.88	0.00	0.00	0.00	4.49	23.74
評価		○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○

定期的な確認・評価・是正
- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：切断時の端材利用や不良品の削減に取組み。集中廃棄処理したことから廃棄物は目標比46.81t増加し達成率75.81%でした。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：材料が高騰しており、引続き歩留まり率を上げて下さい。

- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：対前年比2.84t減少し、目標比12.60t減少し達成できました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：廃棄費用が約2倍に値上がりしており、引続き削減努力をお願いする。

- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：今期実績23.74t、目標比は全体で9.53t減少となり達成率140.16%となりました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：計画的な廃棄に努め、引続き削減努力をお願いしたい。

排水量の削減

総排水量の削減

【基準】2019年度
2019年度使用量 5.920m³
2022年度目標 5.743m³
【中期目標】 毎年1%削減
2023年度目標 5,686m³
2024年度目標 5,628m³
2025年度目標 5,571m³

環境活動等：総排水量削減対策の説明（責任部門）
・漏水防止
・節水対策（全部門）
・融雪放水の管理

総排水量の削減		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2019年度基準	排水量 m³	302.5	371.9	374.7	460.2	526.1	513.5	523.3	580.6	481.6	539.3	654.3	592.2	5,920.2
2022年度目標	目標 m³	478.7	478.9	478.9	478.5	478.5	478.5	478.5	478.5	478.5	478.5	478.5	478.5	5,743.0
2022年度実績	排水量 m³	314.0	430.6	484.2	444.7	388.5	424.9	313.7	422.3	420.3	415.8	315.2	347.3	4,721.5
評価		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

定期的な確認・評価・是正
- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：全体で前期比81m3減少し目標比121.66%で目標を達成できました。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：引続き排水量の削減に努力をお願いしたい。

グリーン商品の購入

事務用品のグリーン商品購入率

【基準】2017年度
2017年度使用量 75.57%
2022年度目標 79.62%
【中期目標】
2023年度目標 80.41%
2024年度目標 81.21%
2025年度目標 82.01%

環境活動等：グリーン商品購入対策の説明
・再生商品の購入（責任部門）
・グリーンマーク事務用品の購入（購買部）

グリーン商品購入率		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
2017年度基準	グリーン商品購入率	87.12%	84.53%	75.63%	69.50%	71.31%	75.29%	90.79%	45.02%	57.55%	77.29%	78.09%	58.02%	68.16%
2022年度目標	グリーン商品購入率	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%	79.62%
2022年度実績	グリーン商品購入率	88.40%	85.50%	85.32%	78.98%	77.65%	63.26%	89.26%	82.51%	57.43%	47.73%	46.09%	73.42%	75.83%
評価		○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×

定期的な確認・評価・是正
- 通期：達成状況/問題点/是正（実施責任者）：グリーン商品を優先して購入に努めましたが、目標をは達成できませんでした。
- 評価/指示（管理責任者・代表者）：引続き努力願います。

※ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組は、金属材料の廃棄率の改善及びコピー用紙の使用量の削減を行っています。

Ⅷ. 代表者による全体評価

	報　告	コメント・提案 （環境管理責任者）	評価・指示事項 （代　表　者）
二酸化炭素排出量の削減	① 売上は増加したが、消費電力量が減少した結果、二酸化炭素の排出量目標が達成できました。	① 二酸化炭素の排出量は、前年比41,597Kg-CO^2減少し、生産量は減少したが売上高増加し目標値は達成できました。	① 二酸化炭素の排出量は目標達成。当社は 7年前から太光発電発電を行い、今期253,490Kg-CO2 削減しています。
廃棄物量の削減	② 勤続の一括廃棄から全体の廃棄量は前期比55.58t増加、全体では目標比23.7t増加し目標は未達となりました。	② 一括廃棄から金属廃棄量が、梱包部品の増加から木くずがともに大きく増加した結果、全体目標比23.7t増加し未達となりました。	② 廃棄量の削減を目指し、ペーパーレス化の促進、端材等の再利用を促進のこと。

Ⅸ. 環境関連法規等の取組み

1. 当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境法規は次の通りです。

適用される法規制等	適用される事項	評価
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック類、木くず)	適合
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	適合
小型家電リサイクル	パソコン、携帯電話、デジカメ	適合
水銀廃棄物ガイドライン	廃蛍光ランプ、HIDランプ	適合
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、3か月に1回以上簡易点検	適合
騒音規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
振動規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
浄化槽法	浄化槽の管理	適合
消防法	定期点検の実施、少量危険物保管の管理	適合
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベイ使用	適合
労働安全衛生法	作業環境の整備、一般健康診断、特殊健康診断	適合
自動車リサイクル法	自動車の管理、リサイクル料の納付	適合
PRTR法	化学物質の管理	適合

2. 環境関連法規への違反、訴訟等はありません。
　また、関係機関や地域住民からり苦情や指摘事項はありません。

次回の「環境活動レポート」は、2024年7月に発行を予定しています。

環境経営計画（次年度取組内容）

1．二酸化炭素排出量の削減

(1) 節電活動

① 電気料金の値上がりから一層の節電、生産性向上を図る。

(2) 太陽光発電

① 自然エネルギーの活用を推進し、二酸化炭素排出量削減を継続する。

(3) 冷暖房の室温管理（A／C）

① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。

② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。

(4) 設備機器の検討

① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。

(5) 工程管理による残業時間の削減

① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、生産性向上体制を築く（無駄な時間外を無くす）。

(6) 灯油使用量の削減

① 消費量を定め計画購入する（暖房用）。

(7) 自動車燃料の削減

① 運行予定表の作成による計画走行を実施する（トラック便）。

④ 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。

2．廃棄物の削減

(1) 紙類、段ボールの有効利用

① 出荷梱包に、不要な段ボールを再利用し、紙類の廃棄分は100%再生業者へ持ち込む。

② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。

(2) 端材（残材）の有効利用

① 端材等のスクラップ材の完全分別化（完全リサイクル）を実施する。

② 端材を利用した商品開発を促進する。

(3) 廃棄プラスチックの削減

① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。

② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。

(4) 木くずの削減

① パレットの木くずを再利用する人に引き取ってもらう。

② 材料業社に引取り交渉をする。

3．排水量の削減

(1) 節水運動の推進

① 節水を周知するためポスターを作成する。（蛇口設置箇所）

② 清掃時の節水（作業場モップ清掃時等）に努める。

(2) 融雪放水の管理

① 20Cm以上の積雪又は天気予報等で20Cm以上の積雪が予想される場合に放水する。

② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。

4．化学物質（PRTR法対象物質）の削減

① 化学物質取扱者に対する教育を行う。

② 化学物質の保管・管理を指導する。（安全パトロール）

③ 有機溶剤・特定化学物質作業主任者の技能講習の受講を推奨し管理意識の向上を図る。